

木肌のぬくもり社

送る側、受け取る側が
いい関係になってほ
しい。
こう話すのは平成26年
9月から木肌のぬくもり
社で代表を務める須藤奈
津子さん（岩館2）。
同社は昭和57年に先代
の山内安久さんが設立。
地元の素材にこだわり、
同社で所有する杉林の秋
田杉を加工した飾り扇子
をはじめ、全国規模の特
産品コンテストで中小企
業庁長官賞を受賞した常
夜灯などを、要望に応じ



依頼者の思いを込めて作品を作る須藤さん

送り手が感謝される
作品を作りたい

て制作しています。作品には
木目のうち「夏目」と呼ばれ
る柔らかい部分を切り抜く
「すかし彫り」が施されてお
り、名前や好きな絵などを彫
ることができ、県外や
海外に住む方への贈答用とし
ても喜ばれています。
ここで働く従業員は5名。
ほとんどが町内の方です。
ここに勤めている吉野さんは、
すかし彫りが終わった作品の
磨きと塗装を担当。「楽しく
仕事することができると、霧
の職場です。自分が手がけた
作品がお客様に喜んでもらえ



木肌のぬくもり社
(八森字中浜136)
TEL 0185-77-2236
・主な商品/
飾り扇子、常夜灯、賞
状額
・主な仕事内容/
木の切り出し・製材、
すかし彫り、塗装

ると嬉しいですよ」と話して
くれました。今後は販路拡大の
ための営業や事務ができる社
員を採用したいと考えていま
す。
最後に須藤さんに仕事に対
する思いを聞いたところ、
「どれも木目が違うので、世
界に一つだけの作品になりま
す。作品はすつと残るものな
ので、受け取る側が『私のた
めに作ってくれてありがとう』
と思うてくれる一つのき
っかけになるような作品を作
りたいです」と語ってくれま
した。

八峰町のなかまたち 八峰町で活動する様々な団体・サークルなどにスポットライトを当てます

Vol.16 八森あぶさん

八森あぶさんは、主に八森地区に住む20代から30代の選手が所属する軟式野球のチームです。
結成から30年を超えるチームには約30名が加入しており、昨年は東日本軟式野球秋田県大会1部でベスト4まで勝ち進んでいます。練習は毎週木曜日の午後7時から9時まで八森土床体育館で行っており、メリハリをつけて取り組んでいます。
選手同士とても仲が良く、常に明るい八森あぶさんは、山本郡予選を勝ち抜き、全県大会に出場して全県の雰囲気を楽しむことを目標にがんばっています。



広告募集



問合せ先
企画財政課広報情報係
☎76-4603

ご法事・お祝い・会合に
彩り豊かな **鮎折詰**
お寿司・お刺身
オードブル承ります
八峰町地区3,240円以上で配達致します。

お寿司の宅配と
お持ち帰り
鮎待夢
すしたいむ
SUSHI.TIME
能代店
能代市南陽崎31-20
TEL.0185-
55-3277

ガイド共通講座開催!

2月25日〜26日に秋田県ガイ
ド共通講座が鳥海山・飛鳥ジオ
パークで開催されました。ガイ
ド共通講座は秋田県内の4つの
ジオパークによって毎年開催さ
れ、ガイド同士の交流とガイド
技術の向上を目的としています。
開催場所は持ち回りで、昨年度
は八峰白神ジオパークで開催し
ました。

鳥海山・飛鳥ジオパークは昨
年9月に日本ジオパークに認定
され「日本海と大地をめぐる水
と命の循環」をテーマにしてい
ます。今回は「水」「文化」を
テーマにした講演とツアーでし
た。県内の各地域の水や文化の
情報が共有できれば、自分たち
の住む地域を特徴づけた、より
おもしろいガイドにつながるの
ではないかと思われました。

講演1「秋田県の湧水に
ついて」林武司氏

秋田大学教授の林先生からは
水と文化の話をしていただきま
した。秋田県内には湧水箇所が

各地にあり、八峰町では「お殿
水」が有名です。各地の湧水を
めぐって飲み比べをしてみるの
も楽しいですよ。講演内容は
次のとおりです。

- ・成分や湧水量など水そのもの
の性質だけでなく「水文化」
という視点でとらえれば、各
地域で差異が出て面白い。
- ・例えば酒蔵や鹿島祭りも水を
利用した水文化だ。人と水が
かかわってきた歴史・文化は
ジオパークで大きなテーマと
なる。
- ・雪は天然のダム。温暖化によ
り雪が降らなくなれば、春先
に必要な水が不足する事態も
懸念される。

講演2「東北の野生動物
と狩猟文化」田口洋美氏

東北芸術工科大学の田口先生
からはマタギやクマの話をして
いただきました。田口先生は主
に狩猟文化について研究されて
おり、「マタギサミット」を開催
したりしているそうです。講演
内容は次のとおりです。

・秋田県だけではなく全国的に
クマの被害が増えていて、出
没場所が山↓平地農村↓地方
都市と人の生活空間に徐々に
近づいている。

・農作物被害が大きいのはイノ
シシや鳥類。クマの被害数は
圧倒的に少ないが人身事故に
なる可能性がある。

・昔はマタギや犬たちが人間と
動物とのテリトリーを調節し
ていた。現在は狩猟者が激減
し、人が自然から撤退したこ
とでバランスが変化した状態
だ。



講演する田口先生

ツアー「スノーシューで
行く冬の『法体の滝』」

法体の滝は、秋田県南部を流
れる子吉川にある高さ約57メー
トルの滝で、日本の滝100選

にも選定されています。約10万
年前に鳥海山から流れ出た「法
体溶岩」が川をせき止めてでき
ました。
ツアーでは、スノーシューで
溪流沿いを歩いて法体の滝を目
指しました。散策前の準備体操
の必要性や大地の成り立ちの説
明の手法などガイド技術を学び
ました。



雪原をスノーシューで
連なって歩く様子

今回の共通講座では他地域の
ガイドを実際に体験でき、大変
勉強になりました。また、色々
な地域の方がジオパークを通じ
てつながり、交流の輪が広がっ
ていたら嬉しいですね。

八峰白神ジオパーク推進協議会
地域おこし協力隊 三輪 拓磨
TEL 0185-2632
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一
ふなっこのランド内
TEL 0185-7713086